



RULES FOR THE FIS ALPINE POINTS

アルペンポイントルール日本語版

EDITION 2018/2019

1 競技会

1.1 必要条件

以下の条件に合うレースのみ FIS ポイントの対象となる。

- FIS カレンダーに記載されている競技会
- 国際競技規則(ICR)を厳守していること
- 3条に記載する期間内に開催される競技会

1.2 スケジュールの変更とキャンセル

スケジュールの変更、すなわちレース日時・レース会場の変更、レースのキャンセル、プログラム上の重要な変更は、直ちに以下に報告すること。

- FIS 本部
CH-3653 Oberhofen/Thunersee
Tel +41 (33) 244 61 61, E-mail: alpine@fisski.com
- その競技会に任命された技術代表(TD)

変更通知は、最初のチームキャプテンミーティングの最低4日前までに FIS へ連絡されなければならない！

1.2.1 カテゴリーの変更

各国スキー連盟は登録された競技会を別のカテゴリーに変更を希望する場合(または新たな大会のカレンダーへの追加)は、最初のチームキャプテンミーティングの 10 日前までに FIS に通知しなければならない。

1.3 U21 競技会

FIS カレンダーに記載される U21 (NJR、JUN) 及び NJC (U18) の競技会では、シニアの参加は認められない。
例外: ナショナルジュニアチャンピオンシップ (NJC)

1.4 ナショナルチャンピオンシップ(国内選手権大会)

各国スキー連盟の国内選手権大会として NC と NJC の適切なカテゴリーアダーを使用した各種目男女1レースのみが認められる。

- すべての各国スキー連盟は、U18 競技者のみがスタートできる、各種目男女別に 1 つの U18 競技会を開催することが認められる。

2 選手

2.1 登録

- 選手は、FIS ウェブサイトのメンバーセクションから入る FOU システムを使い登録される。FIS ポイントリストに含まれるべきでない選手のステータスを「アクティブ」から「インアクティブ」に変更する。ステータスが「アクティブ」の選手は、来るシーズンの登録者とみなす。インジャリーステータスの選手は、インジャリープロテクションを維持するために、「アクティブ」のままにしなければならない。

- 暦年の最終日までに 16 歳に達した選手が対象となる (ICR607 条を参照)。

ICR203.3 条に従い選手宣誓書に署名した選手のみ、所属する各国スキー連盟により登録が可能。

各国スキー連盟は、選手が適切な保険に加入し、FIS の選手宣誓書に署名をしたことに責任を持つ。

アクティブ (FIS ポイントリストに載る)。選手が FIS 大会に参加をしない場合でも、ステータスはアクティブのままになる。アクティブからインアクティブへのステータスの変更は、6 月 1 日 ~ 12 月 31 日の間のみ行うことができる。

2.1.1 コード番号

有効な FIS コードを持った選手 (女子と男子) のみレースへの参加を許可される。

2.2 登録料

2.2.1 登録

登録された競技者について登録料金が課せられる。この額は、各国スキー連盟の FIS 口座から引き落とされる。

2.2.2 1シーズンの競技者登録料

FOU システムで申込む場合: 通年 33CHF

FIS オフィスに申込む場合: 12 月 31 日まで 33CHF、1 月 1 日以降 100CHF

2.2.3 ポイントコンフォメーション

ポイントコンフォメーション料: 200CHF

2.2.4 払い戻しなし

選手がシーズン中に引退した場合や、各国スキー連盟による登録間違いがあった場合、払い戻ししない。

3 評価期間

3.1 北半球

評価期間は 11 月第 2 週末に始まり、4 月 30 日に終了する。

例外: ワールドカップ、ヨーロッパカップ

エントリーリーグ (ENL) レベルの評価期間は 10 月第 2 週末に始まる。

3.2 南半球

南半球についての評価期間は 7 月 1 日に始まり、10 月 15 日に終了する。

4 計算方法

4.1 レースポイント

レースポイントはアルペン公式に基づき計算される。

4.2 FISポイント

4.2.1 ベースFISポイントリスト(BL) (*)

ベースFISポイントリスト(BL)は6月中旬に発行される

4.2.1.1 昨シーズン中各種目で獲得した2つのベストリザルトの平均をBLリストの計算に使用する。

4.2.1.2 昨シーズン中にアルペン種目(ダウンヒル、回転、大回転、スーパーG及びアルペンコンパインド)で1つのリザルトしか得られなかった選手にはリザルトの20%(+)がそのリザルトに足される。

4.2.1.3 昨シーズン中、アルペン種目のリザルトがない選手には、前回のBLポイントに50%(>)が足される。

4.2.1.4 インジャリーステータスが承認されていて、有効シーズン中に選手が1種目5回(FISとCOCレベルの競技)プラス4回(ワールドカップ)か、全種目15回(FISとCOCレベルの競技)プラス8回(ワールドカップ)以上スタートしていない場合は、最新のポイントがプロテクトされたポイントより良くない場合、10%がBLに足される。

4.2.1.5 BLの計算をした際に、選手が、WCSLの上位30位から漏れた場合、その選手は、実際のFISポイント(最低6FISポイント)を取得する。

4.2.1.6 補正值(Z)

シーズンの開始時、WCSL上位30選手にポイント割り当てを行う前に補正值(Z)が計算される。

4.2.2 ノーマルFISポイントリスト(NL)

ポイントリストNo1は、BLに基づき7月1日に発行される。

4.2.2.1 NLは、最新の期間中各種目で獲得した2つのベストリザルトの平均がBLより良い場合、そのポイントを反映する。

4.2.2.2 選手が、最新の期間中、WCSLの上位30位から漏れた場合、計算されたポイントが、BL(最低6FISポイント)より良い場合、その選手は実際のFISポイントを取得する。

4.2.2.3 リザルト1つのみでBLポイントがない場合

その選手のリザルトに20%が足される。

4.2.2.4 リザルト1つのみの場合でBLポイントがある場合

評価期間中に各種目につき1つのリザルトのみで、BLポイントがある場合は、BLポイントが有効になる。

4.2.3 アンチドーピングルール違反

選手がアンチドーピングルールを違反した場合、その選手が今まで獲得したポイントは、FISアンチドーピングルール10.1.2条に基づき、抹消される。

4.2.4 有効期間

リザルトの有効期間は、進行中のシーズンとする。

4.2.5 活動していない選手

ある種目でリザルトのない状態が1年経過した場合、そのFISポイントにはFISポイントリスト上で特別の印が付けられる(5.2条)。

4.3 ワールドカップスターティングリスト(WCSL)との統合

WCSL 上の上位 30 選手は 0 から 5.99 までの FIS ポイントを割り当てられる。

4.3.1 WCSL 上位 30 位の換算式

$$A_x = \frac{(WCSL1 - WCSLx)}{(WCSL1 - WCSL30)} \times 5.99$$

WCSL1 = WCSL1 位選手の WCSL ポイント

WCSL30 = WCSL30 位選手の WCSL ポイント

WCSL x = x 位選手の WCSL ポイント

A_x = WCSL の差により換算された FIS ポイント

4.4 ペナルティ計算

4.4.1 ペナルティ計算

ペナルティの計算は、該当する有効リストに基づいて行われる。

4.4.2 レースをスタートした上位5選手

スタートをした FIS ポイント上位 5 名の選手を選ぶ(完走者、失格者、DNF、2 本目をスタートしてない者)。「DNS1」または「NPS1」の選手は対象としない。ポイントがマックス値を超えている場合、マックス値を使用する。(4.4.4 条参照)

4.4.3 選ばれた上位 5 選手

当該レースの上位 10 位から FIS ポイント上位 5 名の選手を選ぶ。

ポイントがマックス値を超えている場合、あるいはポイントがない場合、マックス値がペナルティ計算に使われる。

4.4.4 選手が 5 人未満の場合: マックス値

リザルトリストの上位 10 位の選手で FIS ポイントを有する選手が 5 人未満の場合、あるいは FIS ポイントを持ってスタートした選手が 5 人未満の場合、FIS ポイントのない選手つまり残りの選手がマックス値を与えられる。:

ダウンヒル:	310 ポイント
スーパー-G:	250 ポイント
回転:	145 ポイント
大回転:	200 ポイント
アルペンコンバインド:	250 ポイント

5 名中 FIS ポイント保持者が 3 人に満たない場合、その競技の FIS ポイントは認められない。少なくとも 3 人は FIS ポイント(ポイント数に関らず)を保持していなければならない、また最低でも 5 人が選ばれなければならない。

4.4.5 10 位に選手が2人以上いる場合

レースで複数の選手が 10 位にランクした場合、彼らが FIS ポイント上位 5 名に入っている場合に限り、全員がペナルティ計算の対象となる。

4.4.6 FIS ポイント5位に選手が2人以上いる場合

複数の選手が FIS ポイント 5 位にランクした場合、ペナルティ計算に考慮されるべきであり、レースポイントの高い選手がペナルティ計算の対象となる。(理由: よりよいペナルティのため)

4.4.7 計算

最初に、選ばれた上位 10 人のうちの FIS ポイント上位 5 つまたはマックス値 (=合計 A)と、スタート時の FIS ポイント上位 5 人の FIS ポイントまたはマックス値(=合計 B)を足す。次に(選ばれた上位 10 人のうち)FIS ポイント上位 5 人の選手のレースポイントを足す(=合計 C)。この値が各種目のマックス値(DH310, SL145, GS200, SG250,AC250)を越える場合、レースポイントのマックス値で計算する。

レースポイントの合計(合計 C)を、選ばれた上位 10 人のうちの FIS ポイント上位 5 つ(合計 A)とスタート時の FIS ポイント上位選手 5 名(合計 B)の合計から引く。それを 10 で割る。(合計 A +合計 B -合計 C) ÷10)

4.4.8 ペナルティの切り上げ、切り下げ

ポイントの小数第三位を四捨五入する。(例 13.654 = 13.65 あるいは 21.849 = 21.85).

4.4.9 アルペンコンバインド

すべての FIS アルペンコンバインド種目ではスピード種目(DHまたはSG)の FIS ポイントが与えられる。ただしワールドカップ、ヨーロッパカップ、ノルアムカップ、オリンピック、世界選手権では選手が両方を完走した場合のみ。FIS ポイントペナルティは、テクニカルデータを考慮に入れて適用される。

4.4.10 予選の FIS ポイント

FIS ポイントは、ヨーロッパカップの KO とパラレルの予選に対して計算される。

4.5 カテゴリーアダーとミニマム/マキシマム値

カテゴリーアダーとミニマム/マキシマム値は、各最新 FIS ポイントリスト(1ページ)で公表される。

4.6 インジャリーステータス

4.6.1 届け出

選手が負傷し、シングルペナルティを申請する場合、各国スキー連盟は FIS に公式フォームと診断書をできるだけ早くまたは遅くとも4月 30 日まで提出し、シングルペナルティの承認を得なければならない。診断書には、怪我の種類と回復期間を詳細に報告する必要がある。回復公式のフォームと医師の診断書は、1シーズンのみ有効である。(WC: ワールドカップルール 21.2 条を参照)

4.6.1.1 条件

負傷日から最初のスタートまでは少なくとも8ヶ月をあけること。

インジャリーステータスを維持するために、選手は、アクティブ(ステータス)で競技者登録されていること。

有効シーズン中に選手が1種目5回(FISとCOCレベルの競技)プラス4回(ワールドカップ、オリンピック、世界選手権)か、全種目15回(FISとCOCレベルの競技)プラス8回(ワールドカップ、オリンピック、世界選手権)以上スタートしていないこと。

4.6.2 妊娠

プロテクトステータスは診断書が受け取られ FIS が承認した時(または最後のスタート)から子供の誕生までの間に開始される。出産予定日は診断書に記載される必要がある。子供の誕生後もプロテクトステータスは最大9か月間有効である。各国スキー連盟が正確な医学的理由を述べた FIS ポイントプロテクトステータスの延長を FIS に書面で申請しない場合は失効する。

4.7 職業義務及び兵役

選手が職業的義務(学業)及び兵役のため競技することができないことを証明する「学業または兵役」の届け出を各国スキー連盟が事前に提出し、理由と期間を明確にした場合、条項 4.6 に従い処理される。

4.8 1つの大会で複数のレースが行なわれる場合

4.8.1 ダウンヒル (DH)、回転 (SL)、大回転 (GS)、スーパー-G (SG)、アルペンコンバインド(AC)

大会の一部として、各種目及び各カテゴリー (WC, COC, FIS) につき2レースのみ FIS カレンダーで公表でき、同じ公認コース上で5日以内であることを留意しなければならない。AC の一部として3番目の DH または SG の場合、そのスピード種目の FIS ポイントは与えられない。

さらに、各種目及び各カテゴリーにつき2レースある大会に加えての代替競技の運営は許可されない。そのような追加競技には、FIS ポイントは与えられない。

5 FIS ポイントリスト

5.1 FIS ポイントリストはコンピュータでのみ入手可能である。(ftp://ftp.fis-ski.ch)

ALFPxxx.zip はファイルであり、FIS ポイントリストプログラムで有効である。(“xxx”は常にリスト番号とシーズン番号である。ALFP116F.zip は、No1 リスト 2015/2016 完全リストの意味。ALFP116P は、前回からのアップデートされた情報のみの意味。)

FISウェブサイト(<http://data.fis-ski.com/alpine-skiing/fis-points-lists.html>)でもエクセルとCSV形式ファイルでのFISポイントリストのダウンロードが可能である。

5.2 記号

- * ベースリスト
- # 4.2.1.4 条によるインジャリーステータスプロテクト
- + 昨シーズン該当種目で1つしかリザルトを残していない選手 4.2.1.2 条 (20%)
- > 昨シーズン該当種目でリザルトを獲得していない選手 4.2.1.3 条 (50%)
- C ポイントコンフォメーション
- インジャードであるが計算ポイント採用

5.3 個別リストの発行期日及び有効期限

印刷期日及び有効日は、FIS ウェブサイトで公開される。FIS ポイントリストは北半球のシーズン期間中は2週間ごとに発行される。

6 主催者と技術代表(TD)への指示

6.1 電子データ転送

リザルトは FIS フォーマット(E-Mail:alpineresults@fisski.ch)にて伝送しなければならない。TD はリザルトの正確な伝送を監督し、該当するレポートを作成しなければならない。また、ウェブでの正確なリザルトの掲載を確認しなくてはならない。TD レポート及びタイミングレポートがないリザルトは FIS ポイントリストに反映されない。

6.1.1 レースリザルトのファイル名の構成について:

OC の国名 (FIS ICR で表記されている 3 文字)

codex(FIS カレンダーを参照)

ポイントの後: xml

6.2 評価、非評価への忠告

FIS ポイント評価対象から競技会を排除するには正当な理由があるべきである。理由は「TD 報告書」に明記しなければならない。

多数の選手がレースをフィニッシュした後にレースを中止しなければならない場合、TD はレースの評価・非評価を明記したレポートを提出しなければならない。

7 出場枠

7.1 出場枠の計算

7.1.1 FIS ポイントリスト No1

各国スキー連盟の FIS レースの出場枠は、5種目(DH、SL、GS、SG、SC)のうちの1種目の当該シーズン FIS ポイントリスト No1 に載っている選手の FIS ポイントを使い計算される。各国スキー連盟にとって、最も有利な種目が考慮される。

7.1.2 FIS ポイントリストの上位 150(4.2.5 条に従う)

1 - 6 選手	6 枠
7 選手	7 枠
8 選手	8 枠
9 選手	9 枠
10 選手以上	10 枠

7.1.3 FIS ポイントリストの上位 150 にランクされた選手はいないが 151~300 位にランクされている場合

0 - 1 選手	4 枠
2 選手以上	5 枠

7.1.4 有効期間

これらの出場枠は FIS ポイントリストの評価期間中、有効である。

7.1.5 リザルトなしの選手

前のシーズンにおいて1つもリザルト(それぞれの各種目において)がない選手(FIS ポイントリストで">")はそれぞれの各種目の出場枠計算には含まれない。FIS ポイントに従ってスタートする権利は有する。このルールはアクティブインジャードの選手(FIS ポイントリストに"#"の記号)には適用されない。

7.1.6 開催国のスキー連盟の基本出場枠

開催国のスキー連盟の基本出場枠は 50 で、最大 140 まで補充することができる。

国別出場枠と開催国枠を順守した結果、140 を超えた場合、すべてエントリーが認められる。140 に達しなかった場合、開催国スキー連盟は、残りの枠を自国の選手で埋めることができる。

7.1.6.1 例外

下記に述べる開催国のスキー連盟の出場枠は、SL と GS は 70、DH、SG、SC は 90 とする。:

オーストリア(AUT)、カナダ(CAN)、フランス(FRA)、ドイツ(GER)、イタリア(ITA)、ノルウェー(NOR)、スロベニア(SLO)、スウェーデン(SWE)、スイス(SUI)、アメリカ(USA)、ロシア(RUS)

7.1.7 国別グループ

CAN-USA/DEN-FIN-ISL-NOR-SWE/ARG-BOL-BRA-CHI/AUS-FIJ-NZL/CHN-JPN-KOR-MGL-IND-PAK/LBN-ROU-RSA-CYP-LUX-POR-AND-SRB-MON-SMR-IRL これらの国別グループの国で開催されるレースに対しては、各国につき最高 30(FRA(Pyrenees)-ESP-AND は 40)とする。

ARM-BIH-BUL-CRO-CZE-GRE-HUN-KAZ-MNE-SRB-MKD-POL-RUS-SLO-SVK-TUR-IRI-UZB-UKR:これらの隣接国で開催される大会について出場枠は 30 とする。

以下の国:BIH-BUL-SLO-SRB これらの国別グループの国で開催されるレースでドロボーボード上で最大の 140 名に満たないときはダブルクォータ。

LIE での大会では、隣接する国である SUI と AUT の出場枠は 30 とする。

開催国は 7.1.6 条に従い出場枠を常に受ける。

7.2 女子の出場枠ルール

女子の出場枠ルールは 140 人以上の選手がエントリーした場合に適用される。

7.3 開催国のダブルクォータ

関係両国が合意に至っている限り、レース開催国はダブルクォータを適用してもよい。これを超える出場枠については秋季ミーティングの2週間前までに提案しなければならない。(南半球では春季ミーティングの2週間前まで)

7.4 南半球のレースでのダブルクォータ

南半球でダブルクォータは有効である。ただしエントリーが多い場合、主催者は通常の FIS 出場枠までに出場枠を減らす権利を持つ。

南半球の国が北半球でのレースにダブルクォータを望む場合、同じ権利が南半球の国々に適用される。各国スキー連盟は開催国と連携して協議を行わなければならない、合意に至った大会でしか有効ではない。合意文書のコピーを TD に示し、FIS に提出すること。

7.5 ナショナルチャンピオンシップス(NCとNJC)への海外選手の出場

7.5.1 条件

FIS レースの全条件が守られ、有効な FIS 出場枠どおりに外国の各国スキー連盟の申込みが受け付けられた場合、国内選手権大会は「国際競技会」として考えられ、FIS ポイント対象となる。

主催するスキー連盟は、25 人まで外国人を受けざるを得ない。ただし、各国の出場枠を適用することで 25 人以上の外国人参加が可能である。

7.5.2 公式ルート

他国の国内選手権大会に選手を出場させたいと希望する各国スキー連盟は、競技/トレーニングの始まる少なくとも1週間前までに関係連盟に直接申請するべきである。問題を解決するため FIS が介入することもある。

7.6 FIS 競技会への参加

7.6.1 各国スキー連盟の出場枠は、以下のとおりである。

7.6.1.1 オリンピック冬季競技大会、世界選手権大会

国際オリンピック委員会の規則と世界選手権大会及び世界ジュニア選手権大会開催規則に基づく。

7.6.1.2 ワールドカップ、コンチネンタルカップ

各種カップに対する出場枠はそれぞれの特別ルールに従い決定する。

7.6.2 すべてのアルペン競技会での競技者の数は 140 人を超えてはならない。

もし国別出場枠と開催国枠を順守した結果において 140 人を超えたとしてもこれは認められる。140 人に達しなかった場合、開催国スキー連盟は、残りの枠を自国の選手で埋めることができる。

7.6.3 特別出場枠 *Special Quota*

FIS 理事会は、国と地域に対し特別出場枠を認めることができる。各国スキー連盟は、FIS 秋季ミーティングの最低2週間前までにその要望を FIS に直接送る。南半球のレースの場合、春季ミーティングの2週間前まで。

7.6.4 ナショナルジュニアレース(NJR)

各国スキー連盟には、すべての NJR 競技会において、そのFIS出場枠(9.1.6 条の国別グループを含む)を基に次の算出方式に沿った固定されたクォータを有する。

FIS クォータ	NJR クォータ
10-9	5
8-7	4
6-5	3
0-4	2

開催国は、最高115名の選手をスタートさせることができる。海外からのエントリーが25名未満の場合、または、開催国が115名枠を使用しない場合、最大選手数140名を考慮に入れ、通常の FIS 出場枠を適用することができる。女子競技の場合、140人以上の選手がエントリーした時、この決定事項が適用される。

7.7 出場枠の超過 Over Quota

各加盟国スキー連盟は選手をその連盟が持つ最大出場枠で出走させるだけの権利を有する。女性の競技は、第 7.2 条を適用する。

7.7.1 出場枠は、チームキャプテンミーティングにおいて、TD、レースセクレタリー、そして各チームキャプテンの代表らによってドローの前までに監督する。

7.7.2 もし、競技者がエントリー、または、実際に出走した結果としてその国の出場枠を超えた場合、その競技者は最終公式記録の計算、または、ペナルティ計算には考慮しない。もし、この違反が公式記録掲示前に発覚した場合、その競技者は『DQO(Over Quota)』と公式記録に記される。この様な規則違反が公式記録の掲示後に発覚した場合、公式記録は『FIS 本部』にて、公式記録上に DQO(出場枠超過: Over Quota)として掲示された競技者全員を除外して再計算される。最終リザルトにおいてピブ番号の大きな選手から失格となる。この手続きには、FIS 本部にて対処し、直近のクラシフィケーション小委員会にて承認される。